

UTokyo 男女+協働改革 #WeChange

【実施体制】

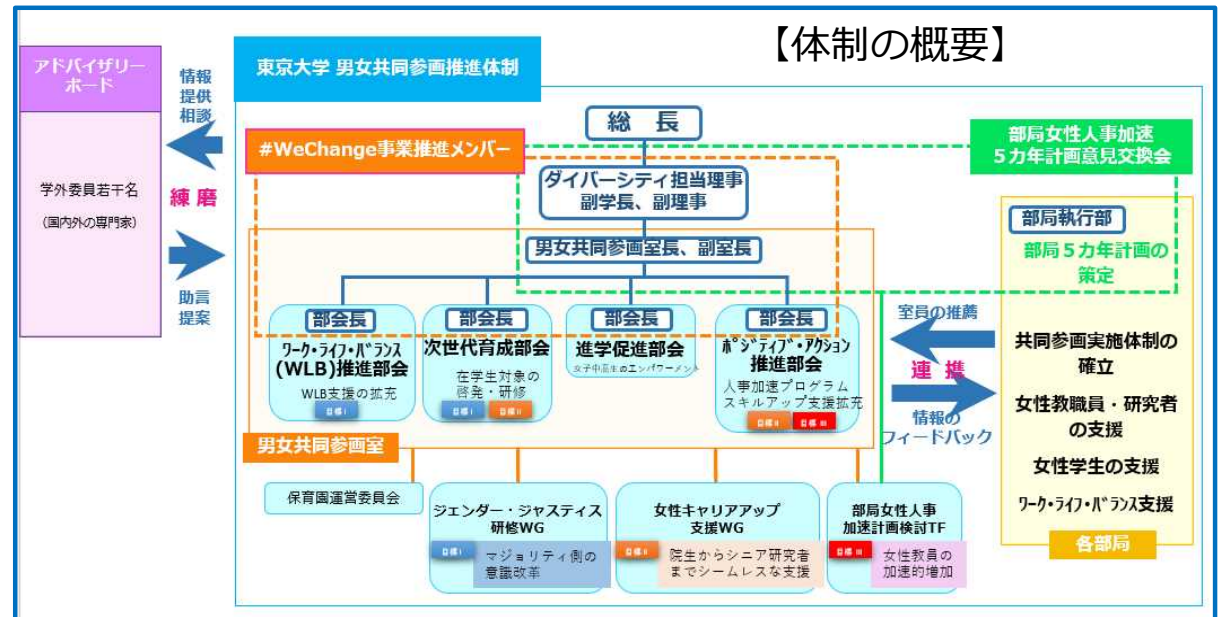
東京大学総長の下に設置された男女共同参画室を運営主体とする。理事・副学長（国際・ダイバーシティ担当）、副学長（ダイバーシティ教育担当）、副理事（ダイバーシティ推進担当）に加え、新たに本事業を中心となって推進する副学長（男女共同参画・ダイバーシティ研究環境実現担当）のポストを、2023年1月に新設し、関連部署の統合・改組とともに大学全体に展開する。

【特長】

1. 全構成員の意識改革：研修や啓発動画等により、学生・教職員を含めた構成員全員のジェンダー・バイアス等に関する意識改革を促し、キャンパスの文化を変えることを目指す

2. 女性研究者へのシームレスなキャリアアップ支援：女性研究者への総合的なキャリアマネジメント・プログラムを開始

3. 全学で共有する女性研究者増加のための計画と独自施策：各部局と本部が一体となって取り組む女性人事加速5カ年計画と加速プログラムの継続と実施



【取組概要（目標）】

I 「男女+協働改革」への基盤整備 —マジョリティ側の意識改革—

教職員対象のジェンダー・ジャスティス研修、学生対象のジェンダー・ジャスティス啓発
男女別研究者活躍データ可視化、ワーク・ライフ・バランス推進サポート

II 院生からシニアまでのシームレスな女性研究者キャリアアップ

女性大学院生・女性研究者スキルアップ支援、研究トッパーリーダー育成コース、女性教員幹部養成プログラム

III 女性教員の加速的増加

女性教員増加を加速させるための計画の継続更新、部局による女性人事の支援、「部局女性人事加速5カ年計画意見交換会」（継続実施）

【取組内容】

I 「男女+協働改革」への基盤整備—マジョリティ側の意識改革—

トップ層を含む全教職員の意識改革、ジェンダー関連講義新設と可視化
男女別研究成果の可視化、WLBサポートの拡充

II 院生からシニアまでのシームレスな女性研究者キャリアアップ

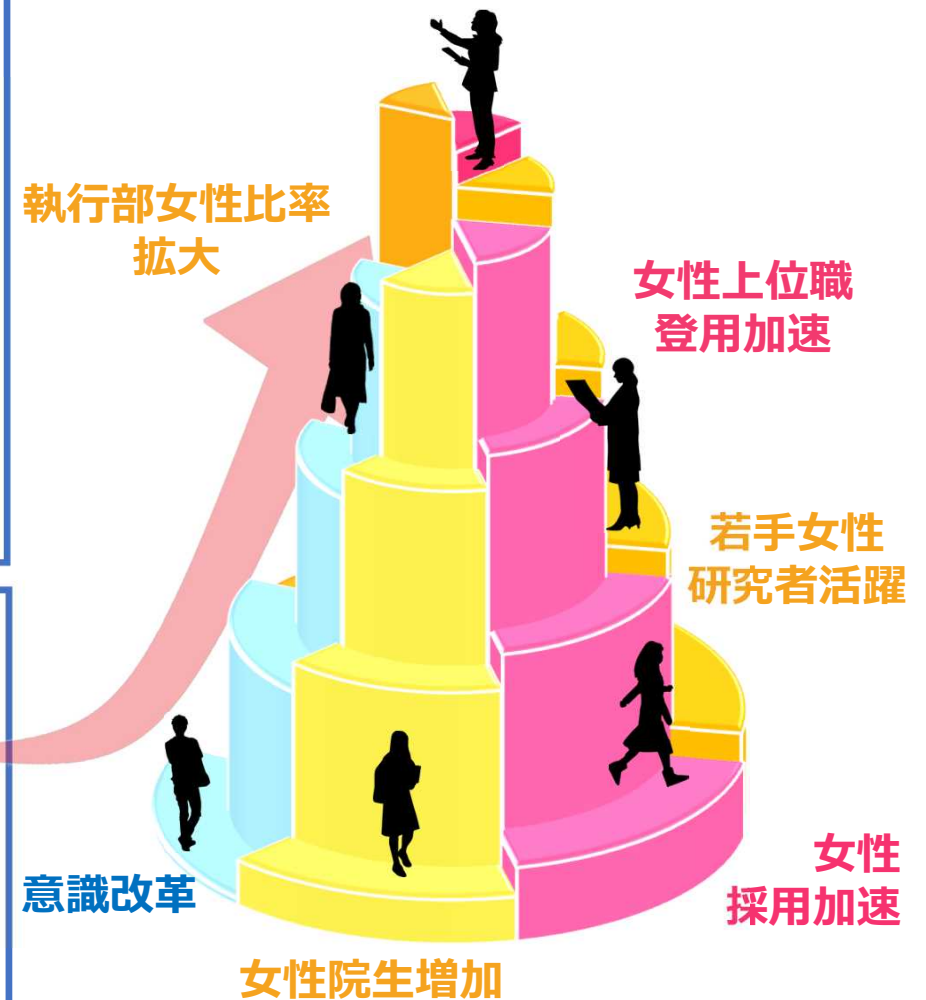
論文投稿や国際学会参加支援、上位職となるための研究スキル習得、
大学運営に関わる幹部になるためのスキル習得コースの新設

III 女性教員の加速的増加

女性上位職（教授・准教授）の増加速度を2倍にするための各種人事プ
ログラムの実施。6年間で着任する見込みの教授・准教授1200人のう
ち、300人を女性とし女性教員比率を25%とする（本事業終了時）

【活動報告】

- ・ 女性研究者支援モデル育成事業「東大モデル「キャリア確立の10年」支援プラン」（2007-2009年度）
- ・ 科学技術人材育成推進費補助金「女性研究者養成システム改革加速」事業 知の頂点に向かって加速！東大プラン」（2010-2014年度）
- ・ 「東京都女性活躍推進大賞」優秀賞受賞（2017年度）
- ・ 「東京大学ダイバーシティ&インクルージョン（D&I）宣言」公表（2022年6月）
- ・ 東京大学ダイバーシティ&インクルージョン宣言制定記念シンポジウム開催（2022年10月）
- ・ 男女共同参画室初のオムニバス講義（前期課程学生対象）
学術フロンティア講義「ジェンダー不平等を考える」開講（2022年度～）
- ・ 教職員向けFD「アンコンシャス・バイアス講習」の実施（2022年度～）
- ・ 女性教員（教授・准教授）増加のための加速プログラムの継続実施
- ・ 「部局人事5カ年計画」の策定と意見交換会（2021年度～）
本部と部局による女性人事加速に関する意見交換会を複数回実施し、
グッドプラクティスの共有や進捗状況の確認とフィードバック



【問い合わせ先】

機関名：国立大学法人東京大学

所在地：東京都文京区本郷7-3-1

連絡先：

diversity-prom.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

HP : <https://www.u-tokyo.ac.jp/kyodo-sankaku/ja/index.html>